

会期後半は週末(3、4日)とあってか、ビジネスマンや家族連れで賑わい、各ゲートには開門前から長い列ができ、乗用車ショーと同じ風景が見られた。初の商用車ショーとなった第34回東京モーターショーは4日、幕を閉じたが、会期5日間の総入場者は17万7,900人と主催者の自動車工業振興会が予想した12万人をはるかに超える盛況ぶりだった。

予想を上回る来場者

178,000人

初の商用車ショー 成功裏に閉幕

商用車と言えば一般的にはビジネス中心とのイメージが強かったが、会期を通して一般来場者も多く訪れ、予想以上の盛況に出品各社も驚き、満足していた様子。改めて“東京モーターショー”ブランドの強さを感じさせていた。

またアジアで初の国際的な総合商用車ショーとあってか、国内外の報道陣はプレスデーだけで2,745人を数え、なかでもタイ、香港などアジア諸国からの取材陣が目立つなど、このショーがアジアにおける“ハブショー”色を彩っていたことも特徴と言えよう。

会場は環境規制の強化、IT(情報技術)による車の進化という時代の流れに対応して、環境・安全・情報を競いながら新しい物流の在り方を提案、来場者の注目を集めていた。さらに商用車の枠を超え、生活そのものを楽しんでいくコンセプトカーや福祉車両なども、夢のある商用車として人気が高かった。このように欧米の商用車専門ショーとはひと味違った総合商用車ショーとして構成されたことから、一般来場者や子供達の社会見学の場としても有意義なショーとなっていた。



乗用車ショーと同様に
開門前には長蛇の列が

最後にモーターショーは潜在需要を掘り起こすと言うが、各社ブースの係員によると商談、問い合わせも活発で、ビジネスとしての手応えは十分あったとのことだった。



テーマパークの乗物並みの待ち時間だった試乗会



商用車がより一層身近に

社団法人 自動車工業振興会
専務理事 石川 越夫

第34回東京モーターショーは、初の商用車ショーとして開幕し、予期以上の成果を収め、4日無事閉幕を迎えることができました。これは出品各社をはじめ、関係各社の皆様の多大なるご協力によるものであり、ここに深く御礼申し上げます。

ショー共通テーマ「個性満載。地球を走る。明日をつくる。」のもと、出品各社が環境対策やIT(情報技術)福祉といった面での新技術の成果を積極的に展示されたことが、18万人という当初見込みを凌駕する来場者の動員に繋がった理由の一つではないかと考えております。

今回のショーで目を引いたことは、ご来場のお客様が展示物の説明に真剣に耳を傾けられ、ご質問されている光景です。また、招待した千葉市の小学生をはじめ小さな子供さんが目を輝かせ、商用車を見て、触れて、座っていた姿が印象的でした。幅広い層の方々に産業活動や暮らしを支える商用車を身近に感じ、ご理解頂けたものと思います。商用車ショーを開催した意義がここにもあったと認識しております。

来年は2回目の乗用車・二輪車ショーが開催されます。この幕張で再び多くの皆様と再会出来るよう祈念して、お礼の言葉に代えさせていただきます。ありがとうございました。

第34回東京モーターショー<商用車>入場者数

月 日	天候	入場者数	累 計
10月31日(火)プレステー)	晴のち曇	2,745	2,745
報道関係者動員数		2,745人	
10月31日(火)特別招待日)	晴のち曇	10,700	10,700
11月1日(水)一般公開日)	雨	30,300	41,000
11月2日(木)一般公開日)	雨	35,100	76,100
11月3日(金)祝一般公開日)	雨のち曇	54,800	130,900
11月4日(土)一般公開日)	晴	47,000	177,900
一般来場者数合計		177,900人	

主なVIP来場者一覧(順不同)

寛仁親王同妃両殿下



寛仁親王殿下



寛仁親王妃信子殿下

運輸大臣

森田 一様
千葉県知事
沼田 武様



森田運輸大臣



沼田千葉県知事

物流は心と心のコミュニケーション
盛況だった特別企画シンポジウム

初の商用車ショーを記念して1日(水)と3日(金)の2日間、幕張メッセ国際会議場2階の国際会議室で「物流」をテーマに開催した特別シンポジウムは、両日も満員の盛況で、好評裏に終了した。

初日のテーマは「ITと物流の大融合時代がやってきた」。笹田剛史・大阪大学大学院教授が問題を提起、これを受けて藤田史郎・NTTデータ相談役、藤松忠夫・フジマツコーポレーション会長が、それぞれの立場から議論を展開させた。このあと笹田教授、作家の小中陽太郎氏、司会の女優・高橋南海さん3人による対論が行われ、小中氏が「物流は心と心のコミュニケーション」と締めくくった。

2日目の3日は「Talk-in 2000」。テーマは「デリバリー最前線」。パネリストは水野誠一・参議院議員、湯川恭啓・三菱商事環境資源研究所首席研究員、タレントのリサ・ステッグマイヤーさんの3人。司会は女優の高橋南海さん。コーディネーターの小中陽太郎氏がパネリストの物流に対する考え方を引き出し、物流の未来と問題点などを討議。最後に小中氏が「物流は心。心を運ぶ物流業」と総括、会場は大きな拍手に包まれた。



編集後記

例によって編集室は穴倉の中で、単に打ち合せと作業の場になっています。短期決戦の為、予想以上に盛り上がったショーの盛りだくさんの展示や特別企画を、たった5号で書き尽くすことは至難の技で、執筆者にはご苦勞をお掛けしました。謹んで御礼を申し上げますと共に、再会を約す所です。再見。

(社)自動車工業振興会 事務局次長 鶴澤 隆



西ホール



中央ホール



東ホール



屋外展示

プレスセンター運営協力

ミシュランジャングループ(株)デンソー
システム機器(株)
アップルコンピュータ(株)
日本アイ・ピー・エム(株)
日本電気(株)NECソリューションズ
日本ビュレット・パッカド(株)
サッポロビール(株)
ニコンカメラ販売(株)

モーターショーニュース制作協力

(株)青松社
コニカユービックス東京(株)

ニュース制作スタッフ

執筆 大塚 健治 他
写真撮影 瀧口 能成(自工振・資料部)
翻訳 ユニカル インターナショナル
デザイン&DTP 澤登 保典(フォレストアート)

11月4日の入場者数
Nov 4th attendance: 47,000人

入場者数累計
Attendance to date: 177,900人

編集・発行 / 社団法人自動車工業振興会 Issued and Produced by JAPAN MOTOR INDUSTRIAL FEDERATION, INC.
制作協力 / 株式会社 青松社・コニカユービックス東京株式会社

